

太陽系の起源は、何故?という問いによって探究される。

惑星の法則はニュートンの万有引力によって解明された。

ボーデの法則を利用した、小惑星帯と月と大赤斑の起源を同時に説明できる仮説で、アブダクションにより統一的に説明できた。

Origin of Solar system is explored by the question "Why?".

Operation of Planet was elucidated by Newton's law.

“Multi-impact hypothesis” that unifiedly explains Origins of Asteroid belt, Moon, Jupiter's red spot, using Abduction.

*種子 彰¹

*Akira Taneko¹

1. SEED SCIENCE Lab.

1. SEED SCIENCE Lab.

アブダクション (地球も人類も形成されていない過去への起源探究の手段) による証明, 物理的な意味を持つ仮説で現状の複数の謎を統一的に説明できるなら, 由一の太陽系の進化・歴史の検証を受けた真理として, 其の仮説の正当性が支持されたと理解する。

特に起源の根拠を示せる仮説は, 実験も理論計算もできない地球物理学の起源問題の有効な手段として画期的である。

マルチインパクト仮説はボーデ法則のセレス位置に惑星CERRAが形成され, 木星摂動で離心率が増大し. セラが木星の潮汐力で約40億年前に分裂し◎小惑星帯の起源となった. 更にマントル破片が地球に衝突 (12.4km/s, 36.5度: 値は仮説より導出) して◎月が現在の距離(60RE)に形成された. 衝突位置は○太平洋であり地殻剥離した跡はアイソスタシーでダーウィン隆起となった. 複数破片の○マルチインパクトが生物種大絶滅の起源となり, ○マントル亀裂とプレート境界の形成の原因となり, ○深海洋底と地球二山頻度形成の起源でもある. ◎プレートテクトニクスやウェゲナーの大陸移動説や海洋底更新説等の駆動力として地球自転力と○地球コア偏芯と慣性能率アンバランス補償の効果が示された.

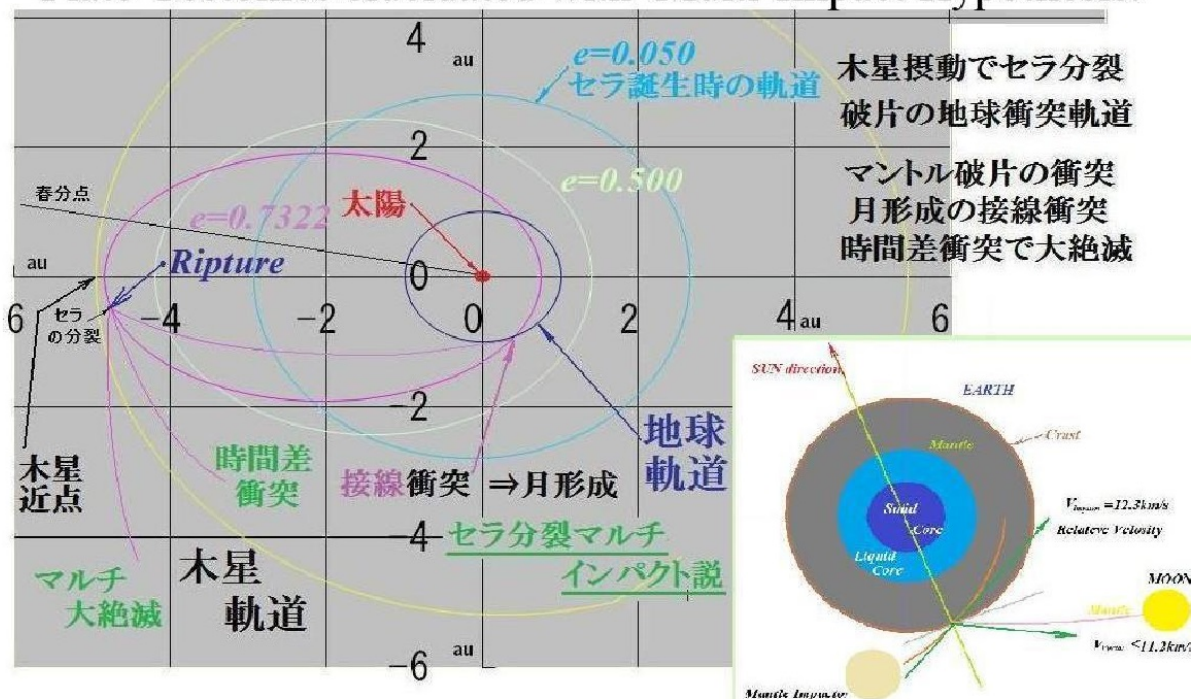
更に環太平洋弧状列島と背弧海盆の起源, 平均深度5kmの起源は衝突によるマントル剥離とアイソスタシー, 凹プレート海盆と凸プレートの押し合いは, プレート相互の潜り込みの起源となる.

プレートテクトニクスの駆動力は, 地球の慣性能率が, マントル衝突剥離によるアンバランスと地球自転方向による均等化による. プレートにモーメントが発生するので, 皺が依らずに平衡に移動する. プレート境界は衝突時のマントル亀裂であり, 圧力低下により融点が下がりマントルが熔融する.

キーワード: アブダクションによる起源の解明, 一度限りの進化での実証, ティティウス・ボーデの法則の証明, 集積メカニズム, 月の起源, 小惑星帯と隕石の起源, 木星大赤斑の起源, 深海洋底の起源

Keywords: Elucidation of origin by abduction, actual proof by one-time evolution, Proof of Titius Bode's Law, Mechanism of Accumulation, Origin of the moon, Origin of asteroid belt and meteorite, Origin of Jupiter Large Red Spot, Origins of deep ocean floor

The Origin of The Moon and The deep sea floor bottom and Plate-Tectonics elucidated with Multi-Impact Hypothesis.



08-08 The Origin of the Deep Ocean Floor and the Plate-Tectonics, Elucidation of the Driving Force,

The Origin of the Moon and the Earth Deep Ocean Floor with Multi-Impact Hypothesis

2016 9-14

8. プレートの駆動力, 同じ密度のプレートが上下に重なる理由

8.1. プレートの駆動力は謎であった. ①. マントル対流仮説(.ホームズ)

②. 前引き, 後押し仮説 ③. リソスフェア厚さ傾斜仮説 ④. プリューム仮説

⑤. 慣性モーメントアンバランス解消偶力説 (本仮説) 偏芯の解消偶力.

マルチインパクト仮説で地殻プレートが図Aの状態 ⇒ 図Bの均質安定状態.

8.2. 同じ密度のプレートが他方の下に潜り込んで, 海溝と和達・ベニオフ帯を形成するメカニズムの謎も有った. 衝突剥離時のアイソスタシーで凹海盆 α.

が形成された.

凸プレートと, 凹プレートが押し合うと, 凸プレートが折れ曲がって, 凹プレートの下に潜り込む. β.

更に深く和達・ベニオフ帯を形成して, 地震発生面に成る.

